

# History of 200 years in Samani

## ふるさと様似・200年のあゆみ

年号	西暦	できごと
寛永12	1635	運別(今の海辺川→うんべがわ)の支流ポロナイの水源に金鉱を発見し、採金をはじめた(東金山金山→ひがしかなやまきんざん)
寛文9	1669	シャクシャインの乱で、東金山の鉱山閉鎖。川口に近いキリシタナイの集落がしだいにおとろえる
寛政11	1799	エンルムに会所を設ける 様似山道(約7km)と猿留山道完成
寛政12	1800	高田屋嘉兵衛の辰悦丸ほか様似に寄航
文化3	1806	オコタヌシ(栄町)に等澗院を完成。7日間勸請供養 等澗院初代住職 秀暁が百人浜に一石一字塔(いっせきいちじとう)を建立(碑文は秀暁の筆で現存)
文化8	1811	等澗院護摩堂、7月に竣工
文政4	1821	等澗院、ソビラウドルサンナイ(本町)に移転
明治8	1875	様似郵便局開局 様似神社が郷社となり、住吉神社として発足
明治18	1885	等澗院、廃寺となる
明治21	1888	公立様似簡易小学校開校
明治22	1889	様似簡易小学校の冬島、誓内(ちかない)文教場開校 石川県の移民 海辺(うんべ)に入る
明治24	1891	様似簡易小学校の鶴苔、岡二文教場開校
明治30	1897	等澗院再興許可、塚田純田が住職となる
明治38	1905	様似村役場庁舎 潮見台に新築
大正9	1920	様似尋常高等小学校鶴苔文教場開校
大正14	1925	はじめて電灯がつく(浦河から送電 278戸に点灯)
昭和8	1933	様似村是制定
昭和12	1937	日高本線、様似まで全線開通。様似、西様似、鶴苔各駅開設
昭和22	1947	様似中学校開校(鶴苔、冬島、幌満分校)
昭和24	1949	浦河高等学校様似分校設置
昭和27	1952	町制施行(村から町になる) アポイ岳高山植物群落 国の特別天然記念物に指定される
昭和37	1962	様似町史発刊
平成17	2005	等澗院古文書ほか蝦夷三官寺資料 国の重要文化財に指定される

海からの視点

ふるさと200年

様似有情。

### 様似郷土館

〒058-0024 様似郡様似町会所町1番地 (0146) 36-3335

### 様似町教育委員会

〒058-0014 様似郡様似町大通1丁目21番地 (0146) 36-2521



日本財団 助成事業  
The Nippon Foundation

■パンフレット内のイラスト／ひらかわしょうじろう  
■表紙上図 「仙台藩東蝦夷地経営図の内シャマニ」市立函館図書館蔵  
■表紙下図 「北海道歴史図」北海道大学附属図書館北方資料室蔵  
協力／(社)北海道海事広報協会







